

公開授業	
学年	中2中3(盲)

「 いろんな見方，感じ合おう 」

指導者 青木 孝浩（宇都宮立一条中学校）
 五味淵一彦（栃木県立盲学校）
 鈴木 昭彦（栃木県立盲学校）

1 指導目標

- (1) 作品に対する自分の見方や感じ方を広げたり深めたりするために，美術館の作品を意欲的に鑑賞できる。 (関心・意欲・態度)
- (2) 具体的に作品を見たり触れたりすることで自分の感じたこと，気づいたことなどを具体的にまとめて相手に伝えることができる。また，意見を聞いたりすることで作品の見方を広めたり，深めたりしながら作者の意図に近づくことができる。 (鑑賞の能力)

2 題材について（題材設定の理由）

(1) 研究テーマとの関連

本地区では「夢あふれる空間」の研究テーマのもと，美術館との連携や鑑賞プログラムの活用まで含めた鑑賞学習のあり方について研究を進めている。宇都宮地区では，近年，栃木県立美術館や宇都宮美術館を中心に，積極的に教育現場との連携が進められているところである。その中で，宇都宮美術館は，全館バリアフリーをはじめ，視覚障害者用の図録を作成するなど，福祉環境の整った美術館である。そのような美術館で，一般の中学生と同世代の盲学校生とが交流することにより，それぞれの見方や考え方，感じ方の幅が広がり，より深く作品を鑑賞しようとする能力が育てられるのでは，と考えた。また，立場の違うそれぞれの生徒が捉える作品の見方や考え方，感じ方を共有することは，互いに刺激しあい，生徒一人一人に新鮮な作品との出会いを提供する「夢あふれる空間」になるのではないだろうか。今回，より深く立体を鑑賞する試みとして「触察」を取り入れ，作品との対話を行う。教師はコーディネーターとして，対話型鑑賞法を取り入れながら，作品を鑑賞した生徒の素直な意見や反応を重視し，それぞれの作品解釈ができあがるよう工夫していきたい。

(2) 生徒の実態

市の中心部に位置する一条中学校では，夏休みに美術館レポートを課題としてだしているため，美術館にはほとんどの生徒が行っている。その時のレポートを見る限りでは，意外と立体作品に興味を示す生徒が多い。しかし，まだまだ本物の作品と向き合う機会が多いとは言えず，今回のような立場の違う同世代の生徒や大人達との交流は，実際にはほとんど行われていないのが現状である。

市の西部に位置する県立盲学校では，宇都宮美術館と協力して作成された図録を使った授業が行われている。宇都宮美術館は視覚障害者用の設備が整備されていたり入館料が免除されたり等の措置がなされているが，実際美術館へ出かけて鑑賞する機会はきわめて少ない。しかも，少人数のため，同世代間の多くの意見を聞く機会があまりなく，作品を通しての自分のイメージが広がりにくいという現状がある。

これら両校の実態をふまえ，今回の授業ではそれぞれの生徒の意見を通して，生徒一人一人の感じ方や考え方を広げていきたい。

(3) 題材で育てる力

- ・作者の意図や作品のよさを感じ取る力。
- ・友だちの意見を聞きながら，自分の考えを再構築する力。

3 指導計画（2時間）

- （1）美術館での鑑賞会 …… 1時間（本時）
- （2）鑑賞会のまとめ …… 1時間

4 本時の指導

- （1）目 標 作品を鑑賞し自分の感じたこと，気づいたことなどを具体的にまとめて相手に伝えることができる。また，意見を聞いたりすることで作品の見方を広めたり，深めたりしながら作者の意図に迫ることができる。 （鑑賞の能力）
- （2）準 備 ワークシート，バインダー，鉛筆，触察用図録，ボイスレコーダー

（3）展 開

…生徒指導上の留意点 ……人権教育上の配慮

過程	学 習 活 動	教 師 の 指 導 と 評 価	
導 入	1．本時の学習の進め方を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞のポイントやマナーを告げる。 ・思ったことを素直に発表しながら，作者の意図を考えていくことを告げる。 	
展 開	2．グループごとに活動場所に分かれ，作品を鑑賞する。 ・班ごとに立体と絵画に分かれる。 ・鑑賞時間は各20～25分程度。その後入れ替わる。	立 体 T1	絵 画 T2, T3
		<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに，全体を見て所見の感想を持たせる。 ・必ず全員に「触察」させる。その際，方法を確認する。作品は自分の周りの作品数点を触らせ，比較しながら鑑賞できるようにする。 ＜触察の方法＞ ・上から全体を包むように。 ・その後細部へ。 ・手全体から指の腹で。 ・抱えたりしても良いことを告げる。ただし，高く持ち上げて落として傷を付けないよう注意させる。 ・形だけでなく，色や臭い，質感にも注目させる。 ・作者の意見に近づくような発言は取り上げ，みんなで考えさせるようにする。 ・「海のピース」のことにも触れながら，イメージを膨らませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を囲んで丸くなるように並ばせる。 ・第一印象について思ったことを素直に発表させる。 ・自分の思った意見をそのまま素直に発表させるよう心がける。 ・距離を変えてみさせる。近づいた時は作品に触れないように気をつけさせる。 ・触察用図録と補助教材を十分活用させる。 ・一条中の生徒には，色づかいなどをよく観察させて，自分の言葉で盲学校生に伝えられるようにさせる。

過程	学 習 活 動	教 師 の 指 導 と 評 価
展 開		<p>【共通の留意点】 生徒中心の意見を取り上げ，その考えが広がるよう教師はコーディネートする。（別紙参照）</p> <p>他の人の意見を中傷したりすることの無いよう配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が話し合いに参加できるようにさせる。 ・両校の生徒の意見を述べさせる。 ・意見の出やすい雰囲気作りを心がける。 ・聞き取ったことや気づいたことを可能な限りメモさせる。（特に自分と違う意見や発表を聞きながら考えが変わったことなど） ・所見の感想と，終わりの感想でどんなことが変わったか考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><具体的な評価規準> 作品を鑑賞し自分の感じたこと，気づいたことなどを具体的にまとめて相手に伝えている。また，意見を聞きながら作品の見方を広げたり，深めたりしている。</p> <p>A とするキーワード ・自分の言葉で ・作者の意図を捉えながら ・相手の意見に耳を傾けて ・よく観察して</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">それぞれ，活動の様子やワークシートより判断する。</p> <p>特に，最初の意見と，意見交換後の感想に変容が見られたかどうかについて着目していく。</p> </div>
ま と め	<p>3．各グループごとに簡単なまとめをする。</p> <p>4．次回の内容を確認する。 ・各グループごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ数名程度，感想を聞いてみる。 ・今日の内容を振り返れるような言葉がけをする。 ・今回の鑑賞を振り返りながら，次の時間でまとめをすることを告げる。

【資料1】

素材は地球

立松和平（作家）

丑久保健一さんにその計画を打ち明けられた時、この人はなんということを考えるのだろうかと思われたものだ。櫂で丹精込めてつくった作品のボールを、太平洋に流そうというのである。黒潮にのせれば、北太平洋を北上して、アラスカからカリフォルニア沖を南下し、赤道反流ののっかってまた黒潮の源流に戻るといふ。つまり、海流ののって作品が太平洋を永遠にめぐるといふのである。

作品の数は、陸のピースが百八個、海のピースが百八個である。百八個を海に置くと、陸のピースと呼びあうという。何故この数字かといえば、108はすなわちこうだ。

「1」は始源であり、「0」は無、そして「8」は横にすると「∞」で無限大を表す。つまり、この世のすべてを表現するというのだ。

百八といえば、仏教で人間の持つ煩惱の数のことだと教えるところだが、丑久保流の解釈では私たちのいる世界のすべてだということになる。地球を彫刻するということにもなる。こんな大きな発想をする彫刻家を、他に私は知らない。

私は作品を海に「流す」といって丑久保さんにたしなまれた。ボールはあくまで「置く」ものである。永遠の運動体へと木のボールを高めるのだから、確かに流すのではない。

置く現場に、私は立ち合うことができた。友人等数人で船を出して沖にいったのでは、仲間うちの自己満足になりかねない。そこで私はテレビ局の友人にはたらきかけて番組をつくり、全国の人々に目撃してもらおうとしたのである。

銚子沖の黒潮の波に置かれた百八個の櫂のボールは、列をつくって順々に旅立っていった。太平洋の巡礼のようだった。丑久保さんは地球を素材とした彫刻をしたのだ。百八個のボールには百八通りの運命が待ちかまえていたのだろうが、今も私の心の中に、そしてたぶんテレビを観た多くの人の心の中に、回りつづけているのだ。

丑久保健一さんは大きな大きな彫刻をなしたものである。

いろいろな見方・感じ合おう

年 氏名

作品を見て、第1印象は？

10 のピース (丑久保健一)

大家族 (ルネ・マグリット)

参考になった友達の意見は？

10 のピース (丑久保健一)

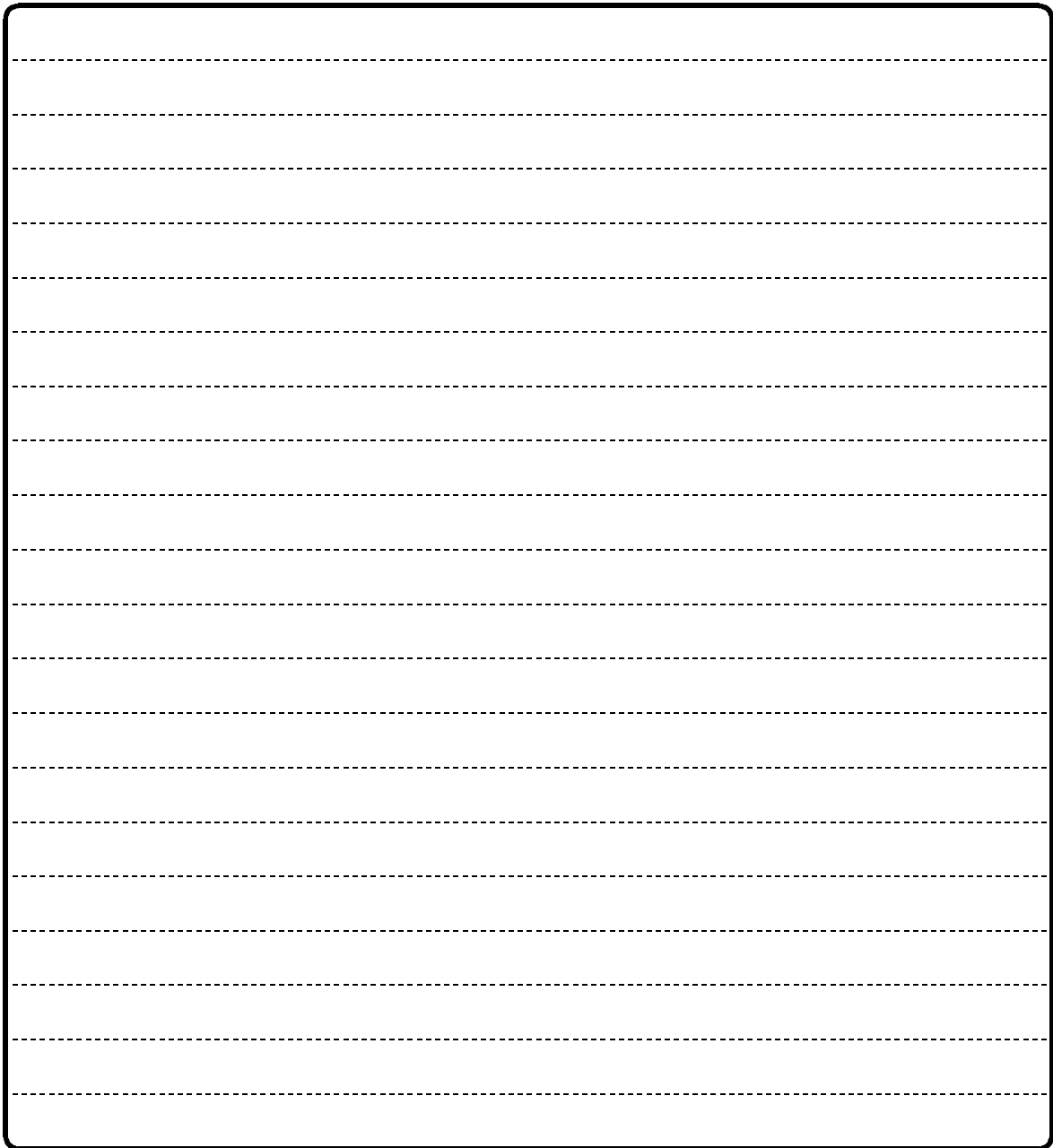
・
・
・
・
・

大家族 (ルネ・マグリット)

・
・
・
・
・

「10 のボール」に想う

宇都宮市立一条中学校 2年 組 氏名[]



作品に対する、自分の解釈や、作品から感じ取ったこと、作品をとおして考えたことなどをまとめてみよう。